「自らの同胞に自らが望むことを望むようになるまで、信仰したことにはならない。」

「自らの同胞に自らが望むことを望むようになるまで、信仰したことにはならない。」 [صحيح] [متفق عليه]

預言者（アッラーからの祝福と平安あれ）はこう説明する：服従行為であろうと、宗教と現世におけるあらゆるよい物事において、自分自身に望むことを自分の同胞にも望まない限り、ムスリムの信仰が完全なものとなることはない。それは、自分に嫌なことを同胞に嫌に思うことにおいても同様である。ムスリム同胞に宗教における何らかの落ち度を見出したら、それを矯正できるよう努力する。そして同胞によいものを見出したら、それを持続させ、援助するよう努力し、宗教と現世において同胞に助言するのである。

https://sunnah.global/hadeeth/ja/show/66520